

# 山岸学童クの屋根塗る

## 川上塗装工業が無償で奉仕

# グルージャの土井さんも作業

川上塗装工業（盛岡市三ツ割、川上秀郎社長）は6日から、同市山岸の山岸学童クラブの屋根へ、遮断熱塗料を無償塗装する奉仕活動を開始した。子どもたちが快適に過ごせる環境づくりに加え、省エネに優れた塗料の周知を図り、持続可能な環境づくりに取り組み狙い。サッカーJ2のいわてグルージャ盛岡も活動に賛同しており、昨年選手を引退した土井康平さん（33、現フロントスタッフ）も作業に参加。屋根の研磨作業などに精を出した。

6日は川上社長や土井さんら5人が作業。塗装の密着を良くする下準備として、やすり研磨や高圧洗浄を行う

6日は川上社長や土井さんら5人が作業。塗装作業は16日まで続き、グルージャ選手も参加予定。週末には地域児童や協賛企業が作業体験による就労支

援に役立てる。土井さんは、クラブが社会人サッカーリーグ所属だった10年ほど前から、山岸学童クラブでアルバイトをしていたという。「建物も老朽化し、夏の暑さを体感してきたので、少しでも子どもたちが先生が過ごしやすいになれば。山岸の人たちに恩返しをし、またクラブを知っても

ボランティア参加する。また、もりおか若者サポートステーションの利用者も参加し、

ボランティア参加する。また、もりおか若者サポートステーションの利用者も参加し、

ボランティア参加する。また、もりおか若者サポートステーションの利用者も参加し、



塗装に向け屋根を磨く川上社長と土井さん（左から）

ボランティア参加する。また、もりおか若者サポートステーションの利用者も参加し、

ボランティア参加する。また、もりおか若者サポートステーションの利用者も参加し、

同年は第一弾として、緑が丘学童保育クラブの屋根に施工した。使用するのは「GAINA」というJAXAのロケットでも利用される断熱技術を商用化したもので、遮熱、保温性に優れる。同クラブ屋根に施工後は、7月計測時の表面温度が約40度と、未塗装部と比較して約14度下がったという。省エネ効果により、SDGs（持続可能な開発目標）における「気候変動に具体的な対策」 「住み続けられるまちづくり」などの目標達成に貢献する狙いがある。

川上社長（43）は子どもたちの環境を良くするのはもちろん、冷暖房の省エネ化が脱炭素につながり、未来へ好循環の地球環境を手渡していける。10、20年と活動を続けて情報発信して、他の工事でも環境を考慮した塗料の選択が広まってくれたら」と語る。

この活動は「スマイル1000」をスローガンに、施工施設を利用する子どもが計1千人になるのを目標に継続するという。

同社はボランティア参加者および、施工を希望する施設（盛岡広域の学童保育所や公民館など）を募集している。問い合わせは電話019-801-4014へ。